

モリアオガエル 産卵うれしいね

廿日市市津田の津田小にある人工の観察池にモリアオガエルが産卵した。児童たちは、白い卵塊やカエルの様子を興味深そうに見守っている。

観察池は縦約3㍍、横約8㍍のコンクリート製。7日ごろから少なくとも3匹がすみ着き、池で泳いだり、そばにあるハナミズキの枝で休んだりしている。16日までに直径約15㍉の乳白色の卵塊2個が確認された。6年中村麻斗さん(12)は「ふわふわした卵でびっくり。もっと産んでくれたらうれしい」と喜んでいた。

観察池は1992年に設置。昨年もモリアオガエルが数年ぶりに卵を産んだが、池の老朽化が進んで塗装が剥がれ、水も汚かったためうまく観察できなかった。当時の6年生の提案でペンキを塗り直し、水を入れ替えたという。

小林伸二校長は「今年の卵塊は昨年より一回り大きい。池は子どもたちが集まり、学年を超えた交流の場となっている」と話している。

(八百村耕平)

廿日市・津田小の観察池

水入れ替えなど整備



モリアオガエルの卵塊を観察する児童



ハナミズキの木の上にいるモリアオガエル